

高安詰所だより

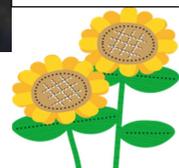
第32号

立教187年

8月23日



高安カブトムシハウス



誠 真 実

夏のおぢばは「こども天国」。大人には厳しすぎる猛暑も、こども達はへっちゃらで、有り得ないほど元気に走り廻っていました。詰所では万一に備えて今年も救護室を設け、高安の看護よぶほくさんに待機してもらったり、深夜の巡回を行ったりと万全の態勢で臨みましたが、おかげさまで夜間の緊急搬送もなく、平穩無事に終えることができ、有り難い限りでした。

何分にも大勢の出入りなので、布団整理や部屋の片付け、廊下やトイレの掃除など、毎日が大変ですが、婦人会を始め各会の委員、会員の皆さんが自教会の団参の合間を縫って、ひのきしんに駆けつけて下さり、おかげ様で今年も支障なくお迎えできました。帰参団体の皆さんもとても協力的で、次に利用される団体のためにきれいに部屋を整えて退出して下さいます。「こどもおぢばがえり」の長い歴史は、こうした大勢の皆さんの尊い真実に支えられて、一年一年積み重ねられてきたのだと実感します。

詰所行事予定（九月）

四日 詰所常会

八日 にをいかけ実動

十四日 おつとめ勉強会

十七日 初代会長様御命日

直轄祭参拝（大教会）

十九日 婦人会詰所ひのきしん

二十日 勤務者修練

二十三日 大教会月次祭

二十四日 大教会秋季霊祭・「修養科生募集の集い」

二十五日 月例朝礼

二十六日 本部月次祭

二十七日 本部秋季霊祭

二十八日～三十日 全教一斉にをいかけデー



※修養科生募集の集い

九月二十四日（秋季霊祭後）

年 祭 活 動

陽気ぐらしへ

一に、ひながたの道

二に、おたすけの日々

初席者 千四百名、修養科生 四百名のご守護を

教祖百四十年祭 お願いつとめ（本部神殿）

（毎週日曜、祝日、二十五日 午前十一時半より）

おつとめ後、おさづけのお取次ぎを頂けます

・神苑、境内地 受付（朝つとめ後）

・おやさとやかた東棟周辺 受付（八時～十五時）

・豊田山墓地 受付（九時～十六時半）

（二日コース） 次回は十月六日

（テーマ 教祖）

（一泊二日コース）次回は九月十五、六日

（テーマ 教えに基づく生き方）

よふぼく講習会

おやさとひのきしん

*詳細、申し込みは天理教ホームページ、若しくは詰所まで



詰所の動き

こどもおぢばがえり(七月二十七日～八月四日)

「こどもおぢばがえり」が盛況に開催されました。まだコロナ前までに戻ったとはいえませんが、おぢばは大勢の子供達で賑わいました。異常な暑さの中で、各団体とも炎天下の移動にはかなり気を遣っておりましたが、子供達はそんなことはおかまいなしに全力で駆けずり回っていました。詰所では少年会を中心に

「室内オリンピック」や「忍者退治」

など様々な行事でお迎えしましたが、

男の子のダントツ人気は「カブトムシ

の館」。年々バージョンアップされていますが、今年は四方を網で囲ま

れた巨大なカブトムシの館(檻)の中に子供達が入って、カブトムシ

と一緒に遊べるという前代未聞の企画に、子供達は大喜び。カブトム



シ達に囲まれる夢のような時間を楽しん

でいました。また夕方の「おやつタイム」

に振る舞われる「かき氷」と「ポップコ

ーン」も最高でした。今年も夢一杯、楽

しき満載の「こどもおぢばがえり」でした。

学生生徒修養会(高校の部)(八月九～十三日)

「こどもおぢばがえり」が終わると、息つく間もなく「学生生徒修養会(高校の部)」が始まり、道の高校生らが全国からおぢばに集結します。高安詰所も宿舎として毎年お使い頂いており、今年も

女子高校生の一部(百二十名余り)を受け入れさせて頂きました。

いまどきの高校生なので「はっちゃけ」られるの

ではと覚悟していましたが、さすがお道の学生さ

ん、礼儀正しく素直で良い子供ばかりでした。僅

か数日の合宿生活なのに、最終日には抱き合っ

て涙、涙で別れを惜しんでいました。



青年会ひのきしん隊

青年会では目下、八月ひのきしん隊に「二百名」入隊の心定め達成を目指して頑張っています。以前のように必ずしも全期間でなくても、都合に合わせて随時入隊することも可能となったので、就職している会員にも入隊の機会が開かれました。とはいえ真夏の一ヶ月に二百名を動員するのは並大抵なことではありません。そんな中、休養日である日曜日にも、大勢の隊員がやってきて詰所のひのきしんに汗を流してくれました。

札幌日大高校、甲子園出場！

今年百周年を迎えた甲子園球場で開催の夏の全国高校野球大会に、札幌日大高校が初出場の夢を叶えました。札幌日大は毎年春に遠征合宿で天理を訪れ、宿舎として高安詰所を利用されているので、監督さんを始め部員ともすっかり顔馴染みになり、南北北海道大会優勝の際には詰所でも心から祝い合いました。部員達は皆厳しく仕込まれ礼儀正し



くて、一昨年の退所の折には、部屋にさりげなく残されていたメモ書きに、「大変お世話になり、本当にありがとうございました。このご恩は甲子園出場です必ず返します」と力強く書かれてありました。その約束を見事に果たした札幌日大、おめでとうございます。

高安詰所モットー

- 五つ いつものはなしかた
- 六つ むごいことをださぬよう
- 七つ なんでもたすけやい
- 八つ やしきのしまりかた
- 九つ ここでいつまでも
- 十ど ところのおさめかた

(教祖お言葉)

明るく楽しく暖かい
高安詰所



発行 天理教高安大教会信者詰所
発行者 芦田孝廣
印刷 天理市守目堂町二五五番地一

TEL 0743-63-0421